

# Heating Cup

型式： THC - 02

## 取扱説明書

お使いになる前に必ずお読みください。  
お読みになった後も保存し、必要に応じてお読みください

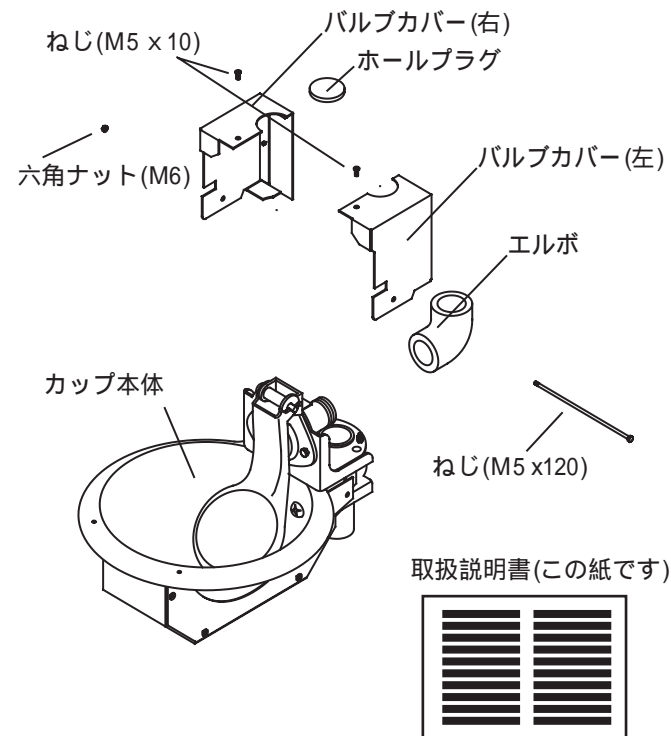
この度はサッポロ土谷ヒーティングカップを、お買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
この説明書はヒーティングカップの機能を十分に、かつ安全に使用して頂くため、取付方法、部品交換方法及び使用上の注意点について説明しております。

### 取扱注意事項

- ・点検時は必ず電源を切って下さい。感電する恐れがあります。
- ・ヒータ電源にはAC100V以外使用しないで下さい。配線工事は電気工事規定に従い正しく行って下さい。誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
- ・ヒーターの電源元には漏電及び配線用ブレーカーを必ず取付けて下さい。
- ・押しペラとナベの間に手を絶対に入れないで下さい。
- ・水以外の液体、気体を使用しないで下さい。
- ・ヒーティングカップに足を掛け乗らないで下さい。ケガ及び故障の恐れがあります。
- ・配管施工時はネジ切りの切粉、小石など異物を取り除いて下さい。故障の原因になります。
- ・牛以外に使用しないで下さい。
- ・給水管には必ず凍結防止ヒーター(別途)を取付けて下さい。
- ・バルブカバーを外した状態で通電しないで下さい。

### 同梱品

本製品には以下のものが同梱されておりますので御確認ください。



もし、欠品している場合お買上の販売店へ御連絡ください。

### 取り付け方法

#### 【位置決め】

ヒーティングカップ「以下、カップ」の取り付け高さを決めます。

A：支柱がパイプの場合

メガネバンド(別途)をボルトとナット(部品No134、124)により固定します。

B：支柱が木柱の場合

木柱金具(別途)をカップが水平になるようにボルトとナット(部No123、124)で固定します。

#### 【給水配管】

カップ上側より給水する場合、同梱されている給水エルボを上向にねじ込んでください。

下側より給水する場合、グロメット(部品No369)を取外し下向きにねじ込んでください。

カップの向きをきめて配管して下さい。配管の途中にユニオン継手を入れてください。

#### 【電気配線】

カップから出ているリード線を電源に接続してください。

\* 電源元には必ず漏電ブレーカーを取付けてください。

\* アースは必ず結線してください。

\* 給水配管に電源線を沿わせてください。

\* リード線を短くしないでください。(メンテナンス時に必要となります)

\* リード線と電源線の接続部は必ず防水処理を行い、保護管に入れてください。

#### 【仕上げ】

バルブカバー(左右)を本体にはめ合せ、付属のビス(長・短)で固定します。

\* リード線をカバー内に収納してください。このとき、ヒーターに触れないように注意してください。

\* カップ下側より給水する場合、バルブカバー上用給水穴に付属のホールプラグ(部品No340)を付けてください。

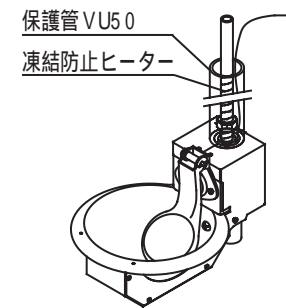
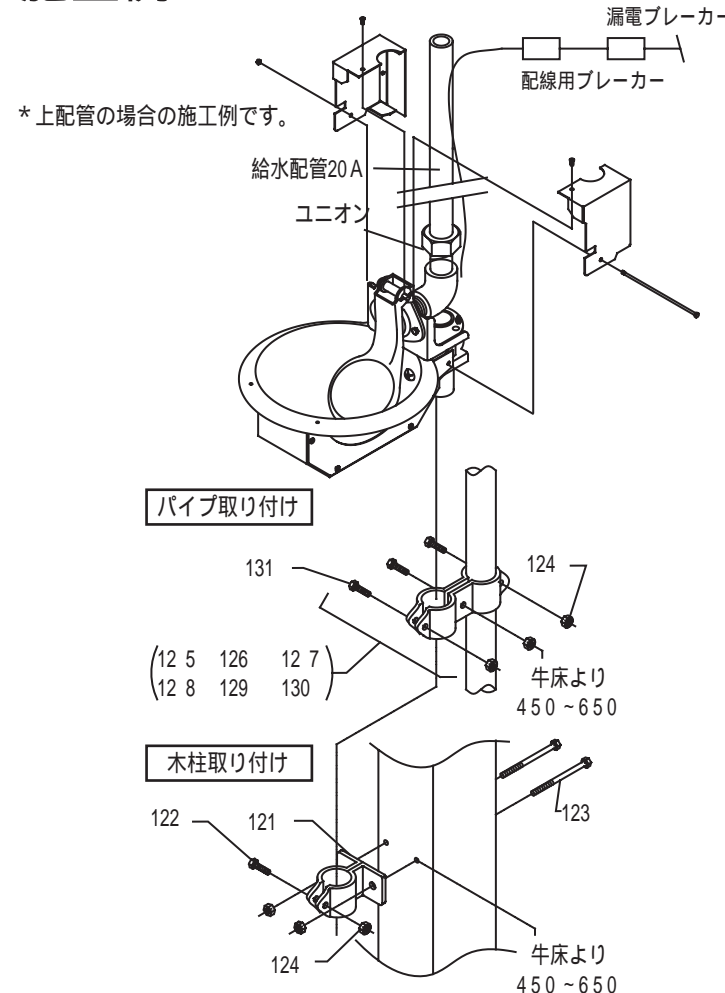
\* 給水配管をカップ上部より配管する場合、バルブカバー穴にリード線が触れないようにしてください。

ヒーティングカップ給水管の凍結防止処理(別途)を行います。

#### 【試運転】

通水・通電試験を行い完成です。

### 施工例

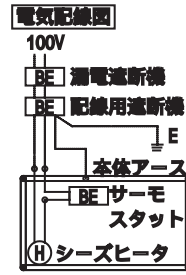


### 取付金具(オプション)

	No	部品名	規格	数量
木柱金具	(121)	木柱金具カビ		1
		木柱金具		
	122	六角ボルト	W8/8×50 (ユニクロ)	1
	123	六角ボルト	W8/8×125(ユニクロ)	2
パイプ金具	124	ナット	W8/8 (ユニクロ)	3
	125	メガネバンドカビ	32A (WC-32×32)	1
		メガネバンド	32A (WC-32×32)	1
パイプ金具	131	六角ボルト	W8/8×38 (ユニクロ)	3
	124	ナット	W8/8 (ユニクロ)	3
	126	メガネバンドカビ	40A (WC-32×40)	1
	127	メガネバンドカビ	50A (WC-32×50)	1
	128	メガネバンドカビ	65A (WC-32×65)	1
	129	メガネバンドカビ	80A (WC-32×80)	1
	130	メガネバンドカビ	90A (WC-32×90)	1

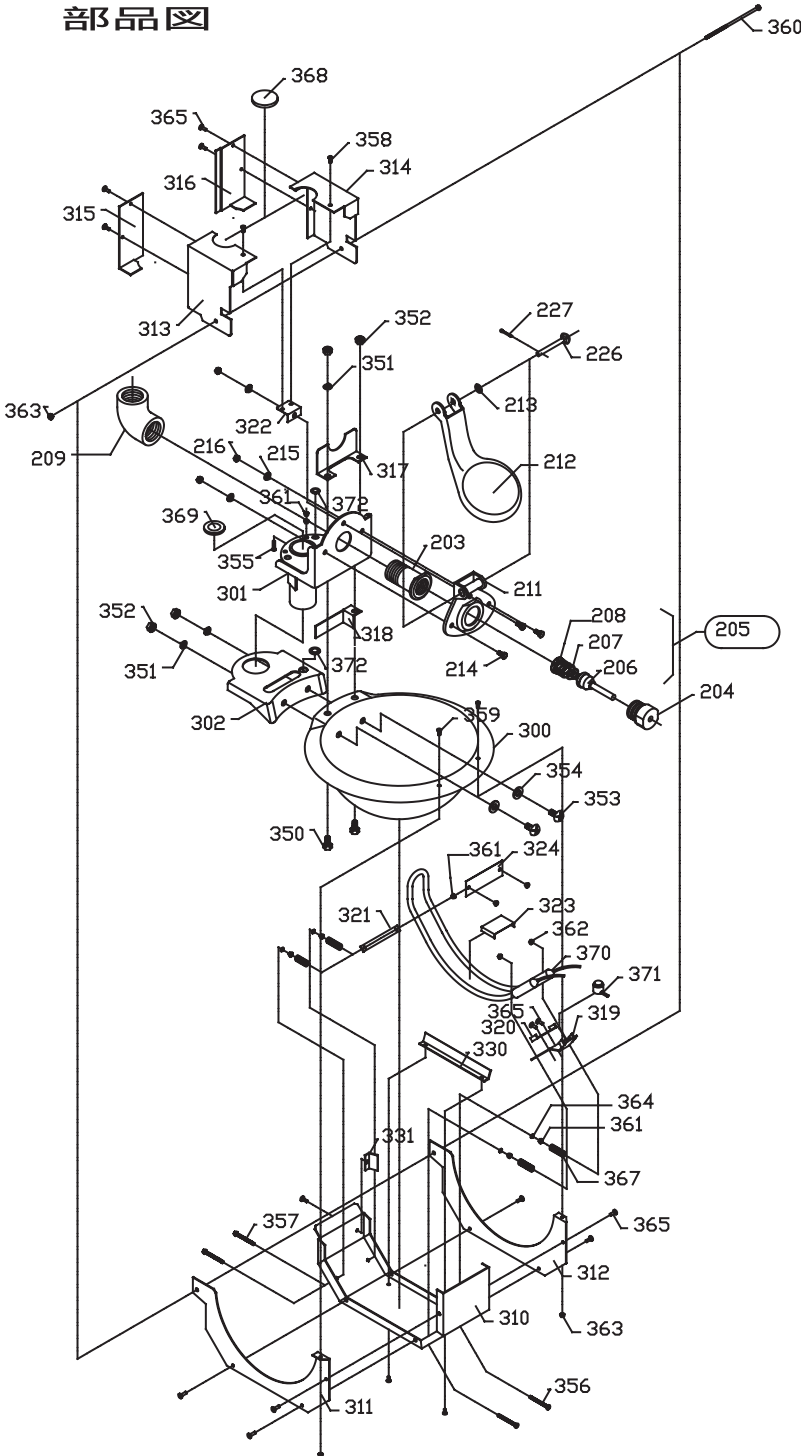
## 仕様

使用水 : 水道水  
 使用水圧力 : 0.4Mpa(旧単位4kgf/Cm2) 以下  
 水温範囲 : 40 以下  
 ヒーター容量 : AC100V、60W  
 給水接続サイズ : 20A  
 サーモスタット : 0 n(10 ±4)、0 ff(20 ±4)



\* ヒーティングカップ外の全ての電気施工部分は電気工事業者による施工を行ってください。

## 部品図



No	部品名	規格	数量
(202)	バルブカバー(203~208)		1
203	バルブ	BC	1
204	ガイド	PA-N	1
205	弁カバー(206~208)		1
206	ゴム弁	ピン 弁押え, E型止め輪付き	1
207	スプリング	SUS	1
208	バルブピンガイド	SUS	1
209	エルボ	SUS 25x20	1
(210)	押しベラカバー		1
211	押しベラ取付金具	溶融亜鉛メッキ 2t	1
212	押しベラ	溶融亜鉛メッキ 3t	1
226	根角ピン	8 (ユニクロ) x55	1
227	割りピン	3x45 (ユニクロ)	1
213	平ワッシャ	SUS304 18x角10x0.8t	1
214	六角ボルト	M6x15(ユニクロ)	3
215	スプリングワッシャ	M6	3
216	ナット	M6	3
300	カップ	溶融亜鉛メッキ 3t	1
301	上金物	溶融亜鉛メッキ 3t	1
302	下金物	溶融亜鉛メッキ 3t	1
310	下カバー	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
311	横カバー(右)	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
312	横カバー(左)	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
313	バルブカバー(右)	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
314	バルブカバー(左)	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
315	バルブカバー(後右)	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
316	バルブカバー(後左)	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
317	ヒーター保護板	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
318	ヒーター保護板(下)	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
319	サーモ取付板	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
320	ヒーター固定板	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
321	ヒーター押え	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
322	カバー押え	SUS430-2B 1.5t	1
323	ヒーター銅板	銅 0.4t	1
324	ヒーター銅板2	銅 0.4t	1
330	電線固定板	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
331	電線固定板(短)	亜鉛メッキ鋼板 1.6t	1
350	六角ボルト	M8x15(ユニクロ)	2
351	スプリングワッシャ	M8(ユニクロ)	4
352	ナット	M8(ユニクロ)	4
353	トラスネジ	M8x15(ユニクロ)	2
354	パッキン	17x8x5t	2
355	なべネジ	SUS M4x16	1
356	なべネジ	SUS M4x40(全ネジ)	2
357	なべネジ	SUS M4x45(全ネジ)	2
358	なべネジ	SUS M5x10	2
359	なべネジ	SUS M5x20	2
360	なべネジ	SUS M5x120(全ネジ)	1
361	六角ナット	SUS M4	6
362	ナイロン六角ナット	SUS M4	4
363	ナイロン六角ナット	SUS M5	3
364	スプリングワッシャ	SUS M4	4
365	ブラインドボルト	NST5-2	15
367	圧縮スプリング	No5307	4
368	ホルプラグ	CP-30-HP-18	1
369	グロメット	C-30-SG-32A	1
370	ヒーター	100V-60W	1
371	サーモ	12N-11B041	1
372	グロメット	C-30-NG-79-H	2

## 部品交換方法

押しベラ(部品No212) の交換

割ピン(部品No227) を抜いて、根角ピン(部品No226) を外してください。  
押しベラ及び根角ピンを交換するときは割ピンも新品に交換してください。

ゴム弁(部品No206) の交換

給水元のバルブを閉じてからガイド(部品No204) を外してください。  
中から弁カンピ(部品No206 ~ 208) を取出し、Eリングを外し、ゴム弁を交換してください。  
新しいゴム弁を部品図の方向に入れ、ガイドのネジ部にシールし、ねじ込んでください。

ヒーターの交換

ヒーター元電源を切ってください。  
ネジ(部品No358.359.360. 363) を外し、バルブカバーを外し、配線を伸ばしながら底カバー(部品No300) を外してください。  
ヒーター銅板(部品No324) を外し、ヒーター交換をしてください。  
結線は、必ず防水処理を行ってください。  
ヒーター銅板(部品No323) を元の位置に取付けてください。  
バルブカバー内に余分な配線を収納しバルブカバーと底カバーを付けネジ(部品No358.359.360) とナット(部品No363) で仮締めをしてください。  
ヒーターに配線が触れていないか確認し、バルブカバーと底カバーを固定してください。  
カップ固定金具を取付け、カップが動かないことを確認してください。

## 保証期間と範囲について

保証期間は納入日から1年間です。

保証期間中に正常なご使用にもかかわらず弊社の製作上の不備により故障や破損が発生した場合には、故障または破損箇所を無料修理させていただきます。

但し、以下の故障、破損の修理および消耗品は有償とさせていただきます。

- 保証期間経過後の故障、破損
- 火災、天災、地震などの災害および不可抗力による故障、破損
- 弊社および弊社指定以外の修理、改造による故障、破損
- 弊社指定品以外の部品をご使用の場合の故障、破損

製造元



技術と信頼の  
**株式会社 土谷製作所**

URL : <http://www.sapporo-tsuchiya.co.jp>  
e-mail: [ieigy@sapporo-tsuchiya.co.jp](mailto:ieigy@sapporo-tsuchiya.co.jp)

- 【本社】 〒065-0042 札幌市東区本町2条10丁目2番35号  
TEL: 011-781-5883 FAX: 011-783-7107
- 【中標津営業所】 〒086-1007 標津郡中標津町東7条南6丁目  
TEL: 0153-72-3853 FAX: 01537-3-4086
- 【幌延営業所】 〒098-3217 天塩郡幌延町元町23番地  
TEL: 01632-5-1751 FAX: 01632-5-2361
- 【大樹営業所】 〒089-2147 広尾郡大樹町鏡町33番地の8  
TEL: 01558-6-3635 FAX: 01558-6-4578
- 【札幌出張所】 〒080-1200 河東郡士幌町字士幌西2線161番地67  
TEL: 01564-5-4711 FAX: 01564-5-4663
- 【とがチテクニカルセンター】 〒080-0028 帯広市西18条南1丁目4-6  
TEL 0155-67-7251 FAX 0155-67-7252